

## オオタカ

学名	Accipiter gentilis (Linnaeus,1758)	
目名	タカ目	
目名学名	FALCONIFORMES	
科名	タカ科	
科名学名	Accipitridae	
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：準 (NT)



## [選定理由]

繁殖地である里山域の森林が開発されたり樹種変換が行われ、繁殖に適した環境が減少している。飼育や剥製にするための捕獲圧も大きい。

県内分布	県内全域の平地から低山帯に生息する冬鳥。
分布域	北海道, 本州では留鳥。四国, 九州では冬鳥。
世界的分布	種オオタカは, ウスリー, シベリア, カムチャツカで留鳥。朝鮮半島, 中国南部で越冬。日本に生息する亜種オオタカ(A. g. fujiyamae)は, 日本固有の亜種。
生息環境	平地から低山帯の混合林に生息する。巣は, アカマツなどの針葉樹の大木に作る。林縁や開けた農耕地などで, ハト, カモ類など中型の鳥類を捕食する。
現状	以前は冬鳥であったが, 近年県内数か所で繁殖が確認されている。繁殖期の個体数は十羽よりも少ないと推定される。
備考	ワシントン条約附属書Ⅱ, 国内希少野生動植物種, 希少鳥獣